

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

所在	千代田区外神田2-17-4
園名	保育室「愛の園」

## 1. 活動のテーマ

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実施し、日認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

### <テーマの設定理由>

開園以来、月2回30分ずつの英会話教室の中で、子どものみならず保育士も共に参加して一緒に英語に触れて参りました。そんな中、外国人の保護者の方が数名いることから、お迎えに来ると英語で話しかけてみようするなど、英語への興味関心が高まってきていると感じます。今回はプレバレーションさんによる英語教室の中で生きた英語に触れ、日本語や英語など言葉への興味をもっと高めていけると思っています。またネイティブの保育補助も入り、外国の方との交流を深めて参ります。

## 2. 活動スケジュール

乳児は英語と日本語の絵本に触れ、違いについて知る機会を持つ。幼児は「英語と日本語と言い方が違うのはなぜ?」「外国の人は英語で僕たちやお母さんたちが日本語なのはなぜ?」ということばの違いや特徴への疑問を問いとして設定し、英語・日本語両方の歌の教材、絵本を用意して、ことばの違いに関して興味が出る環境を用意する。活動が深まってきたら、それぞれの言葉をつかう人たち、国、文化、他の言語に触れることができるような写真や本を用意する。日本語・英語両方を外国人が保育に入ることにより普段の生活の中で聞き、ことばの違いについて探求できるようにする。写真や動画を使って記録する。  
活動が終わったあと、外国人の保育補助を含めて振り返り、内容については掲示し保護者と共有する。

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

環境設定： 英語講師による読み聞かせ

準備物「the very hungry Caterpillar」を読む

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

2歳児クラスで「the very hungry Caterpillar」の読み聞かせを行う。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

講師が「Open please」の声掛けで「the very hungry Caterpillar」を出すと、絵本に興味を示して絵本の前に移動してくる子、前のめりの体制になっている様子があった。卵が出てくる場面では「たまご！」と反応する。太陽が出てくる場面では、講師のジェスチャーを真似して、頭上で大きな丸を描いている。りんごが出てくるページでは、「りんごだ！」「なんでいっぱいいたべたの？」と声に出す。最後に蝶々になる場面で「good bye」の声掛けで絵本をパタパタとさせて蝶を表現すると、蝶々に手でタッチする姿があった。

#### 5. 振り返り

##### <振り返りによって得た先生の気づき>

馴染みのある絵本だったため、最初から興味を示す子が多かった。何人かは絵本での読み聞かせが始まると、途中で他児の様子に意識が向いてしまったが、絵本に集中していた子は日本語でその時の場面を口に出して楽しんでいた。最後の蝶になる場面では、皆が共通して知っているので手を伸ばしてタッチする準備をする姿があった。

